

佐倉市民オンブズマン情報 第94号

2022年11月15日 発行：佐倉市民オンブズマン TEL&FAX043-485-5999 携帯 090-9144-0676

1頁	目次 佐倉市決算 交付金手続きミス 旧統一協会
2頁	定例議会概要 議会質問時間の制限 佐倉市のハラスメント 消防団災害出動報酬

担当部署	佐倉市各部署の必要施策と課題(藤崎提案)
企画政策部	コロナ臨時交付金の事務処理誤りを反省し、他部との連携を含め事務執行を適正化する。
総務部	交付金処理のミス等を反省し、庁内全体の適正化を図る。情報公開の推進。時間外労働の適正化。ハラスメント等への第三者機関通報先設置。
財政部	他部局との合議を能率よく行い、佐倉市全体の財政事務能力を向上させる。
市民部	個人情報保護に関する取扱注意及びその啓発。
福祉部	困っている人の早期発見と救済。高齢者、障がい者、貧困各対策への取り組み強化。施設入所受け入れ能力の適正化。
子ども支援部	子どもの貧困、ヤングケアラー等の早期発見と支援。子育て支援、保育、学童保育の充実。
健康推進部	新型コロナ対策の迅速な取組と柔軟な対応。障がい者医療への取組。市民の健康を守る強い意志と対策
産業振興部	市内産業の強化支援、観光客と市内住民の交流推進。
環境部	環境問題の若者等への啓発。地球温暖化対策推進。廃棄物対策の強化。
土木部	市内道路の安全化推進。街路樹対策を市民と協力して推進。治水の強化と危険性の周知。
都市部	暮らしやすい街づくり、地区計画ガイドライン等による快適な空間づくりへの取組。
危機管理部	コロナ対策を含む避難所の改良。詐欺被害の防止。消防団活動の環境整備。
資産経営部	各施設設計の情報公開。各市有資産に関する情報公開。
会計課	資金の適正管理。
上下水道部	広域経営に関する情報公開。
議会事務局	議会改革の推進。委員会等のネット配信推進。
監査委員	行政運営が適正かのチェック。
選挙管理委員会	公選法違反の排除及び問題点の広報。
農業委員会	農地の有効利用。新たな担い手の育成。遊休農地対策。
教育委員会(教育部)	子どもの自己肯定感の増進。通学路の安全確保。いじめの防止。学校用務員の正規職員化。非蔵書のリクエスト拡大、図書館活用推進。

佐倉市決算 (コロナ対策は62億円)

2021(R3)年度決算は、コロナ対策歳出が多く、決算委員会において審議され、特別会計も含めた全9件が認定された。概要等を報告する。

昨年度一般会計決算

①一般会計歳入は、590億円であり、市民約17万2千人で計算すると、一人当たり34万円となる。前年度と比較すると、126億円の減少。その理由は、一人10万円の特別定額給付金歳入が前年度にあったため。

②一般会計歳出は、557億円であり、前年度と比較し、131億円の減少。同じく前年度は特別定額給付金歳出あり。557億円の内、コロナ対策直接分としては、62億円が支出された。

③特別養護老人ホームに関しては、待機者が360人もおり、厳しい状況が続いている。理由は、同老人ホーム(定員100人)の新規建設が遅れたのが響いている。

④コロナ対策交付金手続きミスによる返還(5.3億円)は、財政調整基金の取り崩しも行った。結局、約4億円の財政調整基金残高が減少した。

⑤介護保険交付金のミスに関しては、介護給付費等準備基金が7千万円減少した。

⑥新型コロナ対策として

国は、R1~3年度で76兆円を支出(会計検査院報告書)した。多額の予算が割かれ、国の財政赤字が増している。

各部署必要施策

決算を通じて感じたことを左表に示しました。

①交付金の事務処理ミスについては、全庁的な連携を密にした取り組みが必要だ。

②困っている人への対策については、コロナ感染者、特別養護老人ホーム待機者、ヤングケアラー、ハラスメント、高齢者、障害者、経済的困窮者等への積極的取り組みが求められる。



佐倉市 交付金手続き6億円の損失 千葉県への回答記録見付からず

コロナ対策交付金手続きミス(5.3億円の損失)に関して、議会質問の際、関係文書を調べると、千葉県への回答記録が無いことが判明した。

昨年3月2日に「繰越手続を佐倉市は行わないことの良いか」と親切な質問が県から来た。(正しくは繰越手続必要)(左文書参照)

しかし、これに対する県への回答記録が無く、回答内容も把握できない状態である。本件の中間、最終報告には、回答記録が無いことが書かれておらず、十分な報告となっていない。

市は質問に対し「今回の事務処理誤りの反省から、送信メールの適正な保存を行うよう全庁的なルールの整備を現在進めているところである」と述べた。

千葉県との合議が必要金額の条件を入れるなどして、効率よく合議の機能を果たすよう工夫すべきだ。今回の2件に関しても、合議があればミスがかなり防げたと思うが、行われなかった。

市は「回答したと考えている」と述べているが、はっきりしない。(県に聞いてもはっきりしない状態である)

県からのチェック依頼に対し佐倉市では非常に雑に扱っているようである。

千葉県からの質問

県からの質問

念に非れ
あ。で残常ず

介護保険も 回答記録が無い

介護保険の交付金のミス(7千万円)についても、県から親切なチェック依頼が来たが、これへの回答記録が無い。内容は、佐倉市だ

金額の条件を入れるなどして、効率よく合議の機能を果たすよう工夫すべきだ。今回の2件に関しても、合議があればミスがかなり防げたと思うが、行われなかった。

佐倉市と旧統一教会

安倍元首相が7月8日、銃撃され亡くなり、これに端を発し、旧統一教会(世界平和統一家庭連合)に注目が集まっています。この教会については、千葉県内に15の教会があり、佐倉市内にも稲荷台にあります。(写真参照)

そして、旧統一教会と政治家の癒着が議会でも問題になっています。宗教団体という組織力を活用し、選挙などに介入し、政治家の力を利用して、自らの地位に力をつけようとしています。また、政治家はその力を利用して、反社会性を無視し、選挙で成功を収めようとしており、問題とされています。



京成臼井駅北側稲荷台風景

オンブズマンとは「行政苦情の解決や行政の適正運用、人権保護のために行動する人」です。市民オンブズマンは、市民がオンブズマンのように活動するものです。各種のご相談は下記連絡先どうぞ。一緒に活動できる方も募っています。

定例議会概要

9月の議会は決算議会であり、一般会計は歳入総額590億円、歳出総額557億円、「実質単年度収支」は約24億円の黒字、前年度(0・4億円黒字)に続き黒字であった。特別会計、水道も含め計9会計が認定された。

① 昨年度一般会計決算

大まかには、コロナ対策事業は大幅増加したが、取止めになったその他の事業も多かった。佐倉市財政としては、普通交付税(国からの補助)や臨時財政対策債(借金)が増加し、実質単年度収支は黒字となった。しかし、根本の国家財政は国債の発行(借金)が多く、私達の借金が増している。

② 一般会計補正予算

国庫支出金(コロナ対応臨時交付金)や前年度繰越金等を財源として、コロナ対応事業等を予算化した。

③ 市議・市長選公費負担改正(2~3%程度の値上げ)

霊感商法(普通の壺や置物などに特別な能力があると売って高額で売られる商法)等により、市民から高額な金を取り上げ、且つ政治家と癒着する事の究明及び決別を求めるもの。

④ 一般職職員給与改正

災害時の職員の迅速な参集を可能とするため

トピックス

③ 市議・市長選公費負担改正(2~3%程度の値上げ)
④ 一般職職員給与改正
災害時の職員の迅速な参集を可能とするため

Table with 10 columns: 議案種類, 提出者, 件数, 主な内容, 可決数. Rows include R3年度決算認定, 補正予算, 条例制定, 条例改正, 和解協議, 人事, 意見書.

Table with 4 columns: 議案種類, 提出者, 件数, 可決数. Rows include R3年度決算認定, 補正予算, 条例制定, 条例改正, 和解協議, 人事, 意見書.

藤崎の議会質問から他

議会運営委員会での質問の時間制限に抗議の退席

議会における議員の一般質問時間は重要なものである。これまで、佐倉市議会の一般質問時間については、議会運営委員会申し合わせ事項で「一般質問は、議員の持ち時間制(答弁を含まず)とする」と決めていた。ところが、今議会の議会運営委員



佐倉市議 藤崎 良次

編集後記

連日、ウクライナでの戦況が報道されている。そして、連日のように北朝鮮のミサイルが発射されている。中国は台湾の統一に関して武器の使用も辞さないと言っている。国の防衛に関しては、その枠組みが大きく変わりそうな気配がし、防衛予算はGDPの2%との声が聞こえてくる。そして、新型コロナも終息とはならない。



さらに、旧統一教会が日本の政治を蝕んでいることが鮮明になっている。この様な時にも、冷静さを持って行動する強い意志が求められる。

会において、「質問時間は、答弁時間を含めた時間とする」との変更が提案された(8月23日)。同じく申し合わせ事項において、「申し合わせ等、全会一致が望ましいものについては、できる限り全会一致によるよう協議を進める。」と定めている。しかし、委員長は、全会一致への努力が感じられず、採決を取ろうとした。そこで、納得できない3人の委員(議員)は、採決を

採決を3名が退席
退席をした。その後可決された。このように、委員会にて抗議の退席をするのは極めて珍しい事である。重要な内容を全会一致を目指さず決めるのは、無謀と感じたためである。しかし、その後11月の会派代表者会議にて、議長は「一般質問時間は30分に戻し、答弁時間を含めた制限は無くしたいと思う」と述べ、了承された。このように、議会運営に関しては、常時綱引きが行われている。

佐倉市のハラスメント

決算委員会追加資料において、ハラスメントの相談件数が報告されている。内容的には、セクシャルハラスメントが1件、パワーハラスメントが3件の合計4件。それぞれ解決したという内容であった。

先日の新聞では、

「佐倉市教育委員会に勤務していた男性が、2013年に自殺した。過労死ラインの月80時間前後の時間外労働が数カ月続き、市教委幹部から連日怒鳴られるなどした。男性の遺族は、約1億3000万円の損害賠償請求を千葉地裁に起こした。」と報じられていた。

時間外労働もハラスメントも極めて危険なものである。申し出可能な第三者機関(弁護士事務所等)も必須である。

消防団災害出動報酬は審議会等委員報酬と同レベルに

消防団の活動については、良い環境にて活動して頂きたいと思っております。これまでの質問を含めお知らせします。
審議会等委員の報酬
また、佐倉市の審議会等の委員の1回当たり平均的報酬は、委員長が日額8100円、委員が日額7600円である。
消防団の災害出動と審議会等の報酬はおおよそ同額になる。これは、これ迄(出動報酬日額一律1500円)と比較すると大きな変化と言える。

消防団の災害出動報酬日額8000円

本年度から、災害出動は出勤実績により特別交付税として決定される。その額は全国一律、一人1日8000円(消防庁表明)。佐倉市も出勤実績に応じて特別交付税を請求することになる。
その他の出動報酬に関して、市は一日1500円を見込んでいる(国の基準財政需要額は一日3500円)。年額報酬は3万6千円に変化無し。

消防団について市民の皆様からのご意見をお待ちしています。下記へどうぞ。

佐倉市消防団員数は本年4月時点では717名。この5年間で37名の減となり、平均在職年数は約14年。